

第3次 安芸市地域福祉計画・地域福祉活動計画

あったか  な 人と心が きづくまち

～住民誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくり～

Q 福祉(ふくし)とは？

A 福祉の意味は、子どもから高齢者まで、年齢や障がいなどの有無にかかわらず、すべての人が住み慣れた地域の中で、心豊かに安心して暮らせる仕組みをみんなでもにつくり、それらを育んでいくことです。

「ふだんのくらしのしあわせ」をいかにしてみんなでつくり育んでいくのか、「福祉(ふくし)」の対象は、すべての人であるとともに、すべての人が主体となって、役割を持つことで、よりよい社会を築いていくことができます。

Q 地域共生社会とは？

A 制度・分野ごとの縦割りや「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともにつくり上げていく社会を指しています。



令和4年3月

地区別アクションプラン

各地区の今後の重点的な取り組み目標



赤野地区

子どもから大人まで、公民館を拠点に
集いふれあう赤野地区

- ★公民館を地域活動の拠点として活用していく
- ★地域間で縦のつながりと横のつながりを紡ぎ、後継者を育てていく
- ★地域全体で子ども達を育てていく

安芸公民館区

交流を通してふれあい、つながる
安芸公民館区

- ★「地域」「学校」「団体・組織」の横のつながりをつくる
- ★イベントを通して町内全体のつながりを深める

江川地区

地域行事を通して地域住民がつながる
江川地区

- ★100円喫茶や向島農村公園など地域の人により参加しやすい場所づくり
- ★独居世帯を地域全体で見守る体制づくり
- ★公民館を地域のコミュニティの拠点として活用する

奈比賀地区

地域の歴史と文化を次世代につなぐ
奈比賀地区

- ★地域行事に若者が参画しやすい仕組みをつくる
- ★地域資源を活用して交流人口を増やす（奈比賀天満宮、奈比賀城跡等）
- ★集いの場を継続し、地域の活性化を図る

穴内地区

子ども、若者、高齢者みんなに役割のある
穴内地区

- ★地域の伝統である獅子舞を継承していく
- ★継続して自主防災活動に取り組む
- ★体操やサロンを通して地域の活性化を図る

黒鳥公民館区

地域全体で「声の掛け合い・気に掛け合い」が
できる黒鳥公民館区

- ★声を掛け合って地域の睦を次世代につなげていく
- ★関係機関と連携しながら、地域全体で高齢者を見守っていく
- ★地域住民一人ひとりが防災意識を高めるよう工夫する

川北地区

挨拶や声掛けを通して地域全体が
顔見知りになる川北地区

- ★地域の伝統行事を伝承する
- ★声を掛け合い集い合える地域づくり
- ★日頃から防災意識を高める

東川地区

「声の掛け合い」「誘い合い」を通して
地域ぐるみで支え合う東川地区

- ★地域のみんなが気軽に参加できる集いを実施する
- ★地域行事を継続して実施していく
- ★空き家を活用して移住者を受け入れたい

津久茂公民館区

子どもから高齢者まで世代でつながる
津久茂公民館区

- ★集いの場を継続して展開していく
- ★地域と高校生との交流を通してつながりを深めたい

井ノ口地区

集いや交流を通して一人ひとりがつながる
井ノ口地区

- ★「井ノ口のおきゃく」を実施する（ビアガーデン復活）
- ★地域のみんなが安心安全に暮らせる地域づくり
- ★次世代を担う後継者を発掘・育成する

伊尾木地区

世代間の交流で地域全体がつながる
伊尾木地区

- ★観光資源（伊尾木洞）維持に向けた取組みを継続する
- ★多世代交流活動を継続する
- ★サロンを通じた地域のつながりを継続する

栃ノ木地区

隣近所で気に掛け合い、自然とともに
穏やかに暮らす栃ノ木地区

- ★住民が心地よく過ごせる場所づくりや地域行事に取り組む
- ★あえて干渉し合い、ひとり暮らし高齢者も安心して暮らせる地区にする
- ★平成30年西日本豪雨を教訓とし、防災活動に取り組み自然災害などに備える

西浜公民館区

地域活動と地域の施設を通して交流が
生まれる西浜公民館区

- ★今ある地域行事を絶やさず継続する
- ★公民館を地域の集いの場として活用する
- ★「食」を通して地域内や地域外との交流を深める

土居地区

ふれあいを通して歴史と文化を次世代に
つなぐ土居地区

- ★既存の行事（サロン、バスツアー、白蓮まつり等）の実施方法を検討する
- ★世代間・地域間の交流を継続する
- ★公民館を地域のたまり場にする（特に男性）

下山地区

地域と学校が連携して地域を育む下山地区

- ★「あったかふれあいセンター下山サテライト」を更に充実させる
- ★地域と学校が協同して地域活動を継続する
- ★引き続き防災活動を継続して行う

畑山地区

住み慣れた地域で安心して暮らせる
畑山地区

- ★地域行事の現状維持をする
- ★有事に備えた災害対策に努める



基本理念

あつたかな人と心がきづくまち
 住民誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくり

基本目標1：であい ～拠点～ 出会いのための人づくり・場所づくり

(1) 地域の担い手を育もう

- ①ボランティアの育成・活動機会促進
- ②地域の伝統文化・行事への参加と継承

(2) 出会いと交流の機会を広げよう

- ①あったかふれあいセンターの機能強化
- ②集いの場所の充実

基本目標2：ふれあい ～共生～ 認め合い・理解し合える意識づくり

(1) 住民のつながりを深めよう

- ①地域コミュニティの活性化
- ②社会的孤立を防ぐ（引きこもり・自殺対策等）
- ③地域課題の把握・解決に向けた機能の充実

(2) お互いに認め合う関係を築こう

- ①社会教育・福祉教育の推進
- ②高齢者・障がい者を地域で理解する機会づくり
- ③子育て環境の充実

基本目標3：かたりあい ～協働～ 暮らしを支える福祉のネットワークづくり

(1) 地域を支える基盤づくりをしよう

- ①社会福祉協議会・地区社会福祉協議会活動の機能強化
- ②身近な相談・支援窓口体制の充実
- ③情報提供・情報発信の充実

(2) 相談し合える関係をつくろう

- ①分野を超えた連携等による包括的な相談支援体制づくり
- ②自ら相談できない方への訪問支援（アウトリーチ）の実施

基本目標4：ささえあい ～協力～ 地域で安心・安全に暮らしていくための体制づくり

(1) 防災に対する意識を高めよう

- ①自主防災組織の活性化と災害時の連携強化
- ②災害時要配慮者の把握と情報提供
- ③災害ボランティアセンターの体制づくり

(2) 安心・安全なまちを築こう

- ①見守りネットワーク活動の推進
- ②子ども・高齢者に対する交通安全啓発
- ③犯罪被害対策の実施

第3次安芸市地域福祉計画・地域福祉活動計画 概要版

令和4年3月

安芸市福祉事務所
 高知県安芸市矢ノ丸1丁目4-40
 電話 0887-37-9451
 FAX 0887-35-1028
 URL <https://www.city.aki.kochi.jp>

安芸市社会福祉協議会
 高知県安芸市寿町2-8
 電話 0887-35-2915
 FAX 0887-35-8549
 URL <https://www.aki-wel.or.jp>